

令和6年、湘南台高校は創立40周年を迎えます。

昭和60年に開校して以来、地域のご支援を受けながら、「自律 創造 敬愛 協調 健康」を掲げ、「思いやりの心を育てる」ことを大切に、社会的・職業的に自立する人を育ててきました。

時代環境が変遷する中でも、進んで社会に貢献して未来を拓いていく人を育成するため、他者を理解し思いやる人を育てることを軸として、歴史を積み重ねています。

神奈川県「インクルーシブ教育実践推進校」として、共生社会の実現をめざし、「すべての生徒が共に学び相互理解を深める教育」を進めています。ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、誰もが学びやすい、わかりやすいことを大事にした教育活動を行っています。言語能力、情報活用能力、国際理解を育む学習活動を充実させながら、主体的・対話的で深い学びを実践しています。

グローバル化・情報過多の現代世界は、ますます多様化・複雑化していきます。自然災害、気候変動などの地球環境問題、社会問題や国家間の関係など、変化も多様で、次元飛躍的です。

世界の未来を担う生徒たちには、それらに対応する資質が求められています。自分とは異なる意見や様々な考え方をもつ他者を理解し、尊重し、つながっていくことができる行動力、ことばにならない思いを聴き取っていく、深く広い内面性が必要です。インクルーシブ教育は、それらを可能にしていきます。

生徒一人ひとり、学校の中でお互いの関わりを通して開花していきます。他者のもつ良さに感心したり競い合ったりしながら、自分の良さを発見し、それを伸ばしていきます。温かな信頼関係に支えられた関わりの中で、課題を発見し、解決を図っていきます。かけがえのない生徒一人ひとりがもつ可能性をひきだす学校でありたいと思います。

そして、その生徒たちが、よりよい社会の作り手になっていくことを願っております。

校長 岩崎 道子

